

生涯学習フェスティバルに参加しました。

令和8年2月15日アリーナ川内で生涯学習フェスティバルが開催されました。当コミ協からも3部門で参加しました



第2回 あったか市

令和8年2月22日(日)あったかクラブ主催の「第2回 あったか市」が開かれました。



第35回 平佐東レキバナ(歴史話)講話 (茶園三洋さん)

新春対談「戸田観音棒踊り」(2) この企画対談は1月初旬に実施したものです。

前回は、「戸田観音棒踊り保存会」について紹介しました。今回は、小学生の参加がどのように進んでいったかを中心におうかがいしました。

① 5月に始まる「保存会」活動はまず総会を持って新しい役員を決めます。その次に大人たちの練習を5月いっぱい3回程度おこないながら、子どもたちにも「参加してくれないか」との声かけがなされます。一対談では、当時の子どもたちの名前を次々と思い出されていました。

② 6月に入って、「保存会」の(大人たちの)踊りを子どもたちに披露して、その伝承にむけた練習と指導に入る。それは7月18日の戸田観音例祭・棒踊りの披露まで続きます。

③ 当時の南日本新聞に掲載された記事(写真を含む)を見ると、大人たちの踊りと子どもたちの踊りは分けて踊られていたのですか? →「はい、そうしていました」

大人たちの「踊り」をまじかで見せながら、子どもたちにも教えて一緒に踊るやり方をされていたようです。そして、平成4年ごろに「子ども棒踊り保存会」が立ち上がった。

④ 戸田観音に奉納する踊りから小学校の運動会での披露に至ったのはどんな経過があったのでしょうか?

小牧初美さんからは、「大人たちの踊り手が少なくなって戸田観音での奉納が続けられなくなったなあ」

小牧勝一郎さんは、「教育委員会の方針なり、校長先生の指導力があってのではないかなあ・・・、今でも学校からの要請があって、棒踊りの練習に取りかかっています。」

⑤ 無形文化財(戸田観音棒踊り)の伝承の経験から学んだことや難しいことはどんなことでしょうか?

小牧初美さんは、「ここまで長い間よくやってきた」と感慨深げに語られた。

小牧勝一郎さんは、「初美さんの踊りは、躍動感があって見ごたえがある」と、「私たちにはそこまでおどれていないなあ・・・」(私からも踊りが”身に染みついている”感じですかと発言)

それに対して初美さんは、「先輩方はまだ体の”しなり”が違っていた。戦前に踊っていた人たちはそうだった。戦後世代は踊りを覚えるのに精いっぱいだったのかも」と。

山内俊則さんは、「覚える事が先で、覚えたつもりでも一人一人の動きが違う場面になると踊り方が不安になってしまい、大人でもビデオを見たり仲間に確かめることもあった。」

小牧勝一郎さんからは「子どもたちは覚えるのが早いし、5・6年生が下級生に対して教えている姿をよく見かける。」

「いつもの授業とは違って、新鮮で楽しい時間のようで集中してくれてると感じる。」と。時々会う小学生に「棒踊りのおじさんだ」の声もかけられる。

この対談のために御三方には年末年始の2日間にわたって時間を割いていただきました。ご協力誠に有難うございました。

(コミセンには、第1回から8回までの「子ども保存会」の記念写真が所蔵されています。ご覧になれます。)

デマンドタクシー終了に伴う代替交通手段について

令和8年3月31日をもって、デマンドタクシーが終了します。この代替りの交通手段が運用できるように、現在、社会福祉協議会を交えて、平佐東地区民児協とコミ協福祉部会で話し合いが持たれています。

どのように運営するか方向性は定まりつつありますが、仔細なところを各方面と調整中です。なるべく早く皆様にご案内する予定ですが、もうしばらくお待ちください。よろしくお願いいたします。

1人 片道 300円

なるべく乗り合わせでの、ご利用をお願いします。

さようなら デマンドタクシー
令和8年3月31日終了



平佐東地区
コミュニティセンター
TEL 29-2056

3月 5日(木) 運営委員会
6日(金)
～ 各部会
20日(金)
21日(土) あさひ資源保全組合
はんとけん体操
29日(日) 飯母橋 開通式予定

★ 3月慰霊碑掃除当番 ……楠元中自治会